

三重の文化芸術振興方策の成果と課題（平成19年度～平成22年度）

(1) 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長（広げ、高める）

（県の4年間の取組と成果）

県民が多様な文化芸術にふれ親しみ、また優れた成果を発表する場を提供するため、各分野の文化団体と連携して、県展、県民文化祭、みえ音楽コンクールを「みえ文化芸術祭」として開催するとともに、文化団体活動への助成や文化に関する顕彰などを実施しました。

また、図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館、文化会館等が県の「文化と知的探求の拠点」としての機能を充実し、公演や展覧会、企画展等を通じて、高い芸術性や本物の文化にふれる機会を提供しました。

さらに、美術館、博物館、斎宮歴史博物館等が所蔵する文化資産等が県内外で広く活用されるよう、移動展示やフィールドワークなどのアウトリーチ活動にも主力を置きました。

（残った課題）

- ・三重の文化振興方針をふまえ、県民一人ひとりの文化力の向上をめざし、県の「文化と知的探求の拠点」の持つ機能をさらに充実させるとともに、「人づくり・地域づくり」につなげる取組が必要です。
- ・「みえ文化芸術祭」については、一体的な広報やより効果的な運営方法を引き続き検討することで、さらに認知度の高い文化芸術の祭典とする必要があります。
- ・継続して活動が期待できる文化団体や地域で県民文化祭に参加した団体に助成し、自主的な活動を支援できましたが、団体の自主性を尊重しつつ、ふさわしい活動水準を継続的に確保できるよう、引き続き見直しを検討する必要があります。
- ・「文化と知的探求の拠点」が情報を共有し、それぞれの専門性を生かしながら、文化体験事業等の取組を効果的かつ継続的に進めていくためのしくみづくりが必要です。

(2) 歴史的資産等の発掘、保存、継承、活用（守り、伝える）

（県の4年間の取組と成果）

文化財の保存・継承・活用をはかるため、国・県指定文化財の指定や地域の貴重な文化財を活用した魅力的な地域づくり活動へ支援しました。

また、史跡や埋蔵文化財を県民の貴重な資産として保存し、学校教育や生涯学習を通じて活用をはかるとともに、国史跡斎宮跡の調査や斎宮歴史博物館等の活動を通じて、地域の歴史学習の支援を行いました。

斎宮歴史博物館では、国史跡斎宮跡の整備に向けた調査・研究を進め、また各種展覧会に加え、横浜でのシンポジウム、桑名での移動展など県内外での活動を行い、斎

宮の広報に務めました。また、各種の地域の街づくり活動への協力を行いました。

さらに、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が適切に保存管理されよう、和歌山県、奈良県および関係市町と連携して取組ました。また、この地域の魅力について理解を深めるため、セミナーの開催や石造物の調査、中学生用の副読本などを作成しました。

三重県史編さん事業については、三重県史全30巻36冊の内、これまで20巻25冊を刊行しました。また、歴史的・文化的に価値の高い公文書を選別し、これらの保存を進めました。

（残った課題）

- ・文化財の保存・継承が困難な社会状況があり、関係機関と連携した普及啓発の取組みと、県民自らが文化財等を地域の誇りとして大切にしていくための支援や取組が必要です。

- ・国史跡齋宮跡の発掘調査は、他地域に見られない三重県の特徴を明らかにするものとして継続・発展させていく必要があります。また、現在進めている史跡の整備については、文化財の保存・継承を目的とした整備にとどまらず、齋宮についての展示・広報と連携させた、観光振興・地域の活性化につながる集客・活用方策の検討が必要です。

- ・世界遺産の価値に気づき、守り伝えていくためには、地域の理解・協力が重要ですが、保存の意義や価値を深める取組や後継者育成などに課題があり、地域と関係市町等が協働して行う保存・活用の取組を支援していく必要があります。

- ・まだ刊行されていない県史の巻について、大学教授等の専門家への執筆依頼、必要な基礎資料の収集や新しく発見される資料の整理等を的確に行いながら、計画どおり進めていく必要があります。

（3）文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信（つながる）

（県の4年間の取組と成果）

文化ボランティア等によるコーディネート機能の拡充により、地域間の連携・交流を促進するとともに、次世代を担う子どもたちを対象に芸術や歴史など本物の文化にふれ親しむアウトリーチ事業を文化と知的探求の拠点や文化団体と連携して実施しました。

また、三重大学と連携して県内の歴史文献データを収集するとともに、博物館と連携して古文書調査人材の育成を進めました。また歴史資料の散逸防止や災害時の資料保全等を支援するため、市町や調査員とのネットワークづくりを進めました。

さらに、県のホームページ「三重の文化」やGIS（地理情報システム）を活用して、三重の芸術文化や歴史資産に関する情報の発信に努めました。また、歴史街道の活用やまちかど博物館の充実等、地域の歴史的・文化的資産を生かしたまちづくりを支援しました。

三重県と岐阜県・福井県・滋賀県とで構成する日本まんなか共和国の文化首都事業を通じて、文化芸術の連携・交流をはかりました。

また、松尾芭蕉を生み、言葉による表現を大切にしてきた三重の文化を発信し継承していくため、全国俳句募集を実施しました。

（残った課題）

・子どもたちを対象にした本物の文化にふれるアウトリーチ事業は、生涯学習センターのコーディネートで、文化と知的探求の拠点等の専門性を発揮することができ、事業を受け入れた学校側からも高い評価を受けました。今後は、文化ボランティアの育成のほか、学校のニーズを把握し、多様なプログラムについて適切に情報伝達する仕組みづくりが必要です。

・ホームページ「三重の文化」は全面リニューアルにより通年アクセス数が大きく増加しました。今後とも、インターネットを活用し、施設も含めたデジタルアーカイブ化を視野に入れ、情報コンテンツの整備と効果的な発信の仕組みを検討する必要があります。

・文化の連携や交流は、その広さや深さにおいて評価されるものと考えますが、参加者数等の一面的な評価に終わりがちです。今後、文化の質を評価できる手法の検討とともに、文化の普及について継続した活動を総体として情報発信することが重要です。

・広域連携のうち、日本まんなか共和国文化首都事業の終了を受けて、4 県の合意により新たな事業を構築する必要があります。県境を越えた広域連携の共通課題として、三重の多様な文化の魅力を、わかりやすく効果的に情報発信することが重要です。

・全国俳句募集では、これまでの成果と問題点の検証を行い、効果的な広報とともに効率的な運営について検討する必要があります。

（4）文化芸術活動支援のための体制整備（支える）

（県の4年間の取組と成果）

県立図書館、博物館、美術館、斎宮歴史博物館、文化会館等の文化・生涯学習施設の機能充実と相互の連携を図るため、施設連絡会議を継続的に開催しました。

また、各拠点の専門性を活かす取組として、平成20年度から3カ年にわたり、「源氏物語」「斎王」「絵本」をテーマにした展示・体験事業を、教育委員会や民間の有識者等と連携して行いました。

三重県総合文化センターは、指定管理者の不断の努力の結果、公演入場率やホール等の施設稼働率とともに顧客満足度も高く、全国屈指の水準を維持することができました。

文化会館では、県の文化発信拠点として芸術性の高い公演や伝統芸能の紹介など県民のニーズに応えた公演のほか、人材育成や他府県施設との連携による公演の企画など幅広い取組を行いました。

また、生涯学習センターでは、高等教育機関や市町と連携した「アカデミックセミナー」「まなびいすとセミナー」を実施するなど、多様化・高度化する県民ニーズに応えた学習機会の提供に努めました。

図書館は、レファレンスサービスの充実やビジネスサポートコーナーの運営等「知識と情報の拠点」となる新しい図書館づくりを進めました。

NPO法人三重県文化協会の解散に伴い、団体等の活動を活発にしていくための情報共有の仕組みとして、三重県文化団体連絡協議会の設立を支援しました。

経年劣化による故障や事故を予防し、設備の機能を保ち安全に利用できるよう、年度別計画に沿って舞台関連設備等の修繕を行いました。

（残った課題）

・三重県総合文化センター周辺地域を「文化交流ゾーン」として位置づけ発展させることにより、県民の皆さんが地域の歴史的・文化的資産等を掘り起こし、その魅力について学び、活用できる環境をさらに充実させていく必要があります。

・県立図書館は、これまでの蔵書の閲覧・貸出という機能だけでなく、レファレンスサービスを充実させ、図書館の持つさまざまな情報を活用することにより、より多くの県民の学習活動を支援し、課題解決や自己実現に向けて県民と協働する取組が求められています。

・文化団体、市町の文化協会等は、それぞれ運営上の手法や課題が異なっており、協議会の意義についてさらに理解を深めていただくとともに、有効な活用がなされるよう、側面から支援していくことが必要です。

「三重の文化芸術振興方策」数値目標と実績値

取組方向	目標項目	項目概要	実績値 (2006年)	実績値 (2007年)	実績値 (2008年)	実績値 (2009年)	実績値 (2010年)	目標値 (2010年)
施策目標	音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しむ機会が多いことに対する満足度	県民一人アンケートにおいて、「音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いこと」に対して、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人の割合	17.9%	21.6%	20.7%	23.1%	20.3%	19.0%
文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長 (広げ、高める)	文化芸術活動への助成件数	県民の皆さんの多様な文化活動を支援するために県が交付した「県文化振興基金活用事業補助金」の件数	33件	44件	54件	50件	51件	30件
	生涯学習講座受講者人数	生涯学習機会提供事業における講座等の受講者人数	10,521人	9,010人	12,093人	10,716人	14,693人	10,737人
	生涯学習情報システムへのアクセス件数	生涯学習を支援する生涯学習情報システムへの年間アクセス数	167,280件	178,280件	190,421件	226,633件	241,516件	172,000件
	三重県文化会館鑑賞型事業入場率	三重県文化会館における鑑賞型事業の入場率	84.0%	84.3%	90.6%	76.1%	89.8%	80%
	三重県立美術館入場者数	三重県美術館への年間入場者数	115,646人	169,809人	157,029人	159,863人	121,582人	118,000人
	三重県立博物館利用者・事業参加者人数	三重県博物館の年間利用者及び事業参加者人数	46,967人	23,578人	30,453人	4,741人	3,959人	48,000人
	みえ文化芸術祭総合フェスティバル参加満足度	みえ文化芸術祭の主要事業である総合フェスティバルの参加満足度	-	95.7%	97.2%	95.8%	91.7%	80%
	三重県文化賞推薦件数	文化芸術分野における著しい功績を称える顕彰制度である三重県文化賞の公募推薦数	52件	41件	27件	32件	46件	65件
県展出品数	美術に対する理解を深めるとともに、県民の皆さんの創作意欲を高め、美術水準の向上をはかることを目的に開催している「県展」への出品数	1,000点	990点	999点	975点	非開催	1,110点	
歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用 (守り、伝える)	「三重県史」の刊行割合	「三重県史」全30巻36冊の計画における編集完了冊数の割合	61%	67%	69%	69%	69%	75% (81%)
	県史編さん資料充実度	県史編さんに必要な資料(最終150,000点)に対する収集割合	88%	89%	92%	94%	96%	96%
	活かそう地域文化財提案事業参加者数	「活かそう地域文化財提案事業」で開始された文化財活用行事への参加者数	9,516人	12,423人	15,938人	15,982人	15,469人	15,000人
	調査研究成果の活用者数	斎宮歴史博物館、県埋蔵文化財センターが行う調査研究成果に基づき、展覧会、現地説明会、公開講座、体験講座への参加者数と斎宮歴史博物館入館者数およびいつものみや歴史体験館利用者数合計	126,544人	102,223人	98,115人	91,493人	113,329人	135,000人

取組方向	目標項目	項目概要	実績値 (2006年)	実績値 (2007年)	実績値 (2008年)	実績値 (2009年)	実績値 (2010年)	目標値 (2010年)
文化芸術を通じた 他地域、他分野と の連携、交流と発信 (つながる)	文化ボランティア等が行った指導、実演の受講者・受講生徒数	地域コーディネーター(地域文化推進員)の活動を通じて行われた、文化ボランティアおよび俳句インストラクターによる指導・実演の受講者・受講生徒数	5,954人	8,768人	10,939人	-	-	6,900人
	さまざまな主体が連携して取り組む文化芸術などを体験するプログラム実施数	6種類(美術系、音楽系、歴史系、演劇系、文芸系、伝統芸能系)の文化体験プログラムの実施およびコーディネーター研修や文化体験フォーラムの開催件数	-	-	8プログラム	19プログラム	35プログラム	24プログラム
	文化芸術情報アクセス件数	文化振興室が管理運営する、インターネットのホームページ「三重の文化」への月平均アクセス件数	16,749件/月	14,802件/月	15,117件/月	44,512件/月	60,210件/月	18,800件/月
	歴史街道GIS作成数	作成したGISの街道数(累計)	1街道	2街道	2街道	5街道	-	5街道
	文化広域連携事業参画人数	文化広域連携事業(日本まんなか共和国文化首都連携事業)に参画した県民の数	123人	114人	101人	69人	-	160人
文化芸術活動支援 のための体制整備 (支える)	三重県総合文化センター利用者人数	県文化会館、県生涯学習センター、県男女共同参画センターの利用者数の合計人数	666,002人	647,195人	650,598人	781,159人	710,649人	650,000人以上
	三重県立図書館利用者人数	県立図書館の年間利用者数の合計人数	373,169人	347,913人	345,187人	344,264人	338,632人	382,000人
	三重県立図書館レファレンスサービス利用件数	県立図書館におけるレファレンスサービスの年間利用件数	3,885件	6,620件	6,107件	6,563件	6,763件	7,000件 (6,000件)
	三重県総合文化センター施設利用率	県総合文化センターのホール、会議室、研修室の開館日数に対する利用日数の割合	73.7%	73.8%	75.2%	79.7%	78.0%	71.0%以上
	三重県総合文化センター広報活動数	三重県総合文化センター機関紙(Mニュース)の発行等広報手段を使って行った件数	55件	60件	71件	73件	77件	45件
	三重県総合文化センター舞台関連主設備修繕進捗率	三重県総合文化センターにおける照明や床機構等の各種舞台設備の修繕率	23.0%	40.2%	62.8%	69.8%	72.5%	55.0%